

ソニー創業者の井深大は、戦後日本が科学技術で復興するためには、理科教育こそ重要だと考えていました。井深は日本初のテープレコーダーやトランジスタラジオを発売し、会社経営がようやく軌道に乗り始めた1959年に、「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。

当時の贈呈式当日に、井深大から受賞校の先生方へ贈ったメッセージをご紹介します。

※内容および名称・肩書等は当時のものです。

第2回（1959年） ソニー小学校理科教育振興資金贈呈式

「科学教育の礎石として」 井深大 ソニー株式会社社長（当時）

厳選に厳選を重ねて

このたび、ソニーで第2回小学校理科教育振興資金の計画書を募集しましたところ、たくさんの学校から真剣な応募をいただき、その中から厳選に厳選を重ねた結果、本日お集まりの皆さまがたに100万円2校と、10万円10校、そのほかに、落とすにしのびないという数校を佳作として、5万円さしあげるということになったわけです。

この審査にあたり、科学技術庁次官 篠原登先生、文部省初等中等教育局長 内藤誉三郎先生、東京大学学長 茅誠司先生の三先生が、真剣にお選びくださいました。こうして三先生に選んでいただきましたものを、ソニーの者が選ばれた学校をお訪ねして、実際に理科教育をやっているところを見せていただき、その客観的な報告を加えて最後の決定をしたものです。

今日お集まりの12校の論文は紙一重の差しかなく、どれを最優秀とするか審査員のかたがたは非常に苦労したということも申し添えておきたいと思います。

日本の生きる道は科学振興から

わたくしたちが、今春、第1回理科教育振興資金提供を計画した理由は、日本という国は、資源が乏しく、狭い国であるため、知恵を働かし、売っていくということが、もっともたいせつであり、そのためにはどうしても、小さい時から、科学的な雰囲気を作って、理科教育を充実していかなければならない、ということを知ったからであります。

先般来日されましたガモフ先生^(※)がソニーにおいでになりましたとき、世界的に非常に重要な発明というものは、たいてい20歳代でできていると言っておられました。わたくしも、これはおもしろい問題だと思って、2、3日前、理科学辞典で調べてみたところ、ちょっとおどろいてしまったのです。たとえば、ニュートンが、光の分散のことを言い出したのは23歳、エジソンが蓄音機を発明したのは29歳、マルコニーが無線電信機を完成しましたのが23歳、キュリー夫人がラジウムの放射能を発見したのは31歳、アインシュタインが相対性理論を言い出したのが26歳、湯川先生が中間子の理論を初めて発表したのが

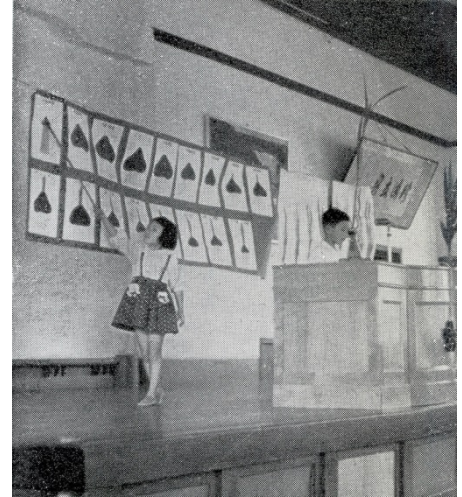
27歳、というように、20代の発明・発見というのが、非常に重要な世の中の推進力となっているようです。

若さにこそすばらしいひらめきが

考えてみますと、いろいろな経験を積んで大人になってくるにつれて、だんだん平凡な人間になってきてしまい、若くて、なんら既成概念にとらわれない頭のうちにこそ、本当に飛びぬけたすばらしいひらめきというものが出てくるようです。

わたくしは、小学校時代の理科学的な雰囲気や自然のうちに植え付け、そして科学的な精神を引き出す、特にそういったようなひらめきのある人に、科学的な場を与えるということが大切なことだと思います。

東京などの大都市の周辺には、科学的な環境が整備されていますが、地方へ行けば行くほど、科学的な環境が少なくなってきました。ですから、地方では科学的な環境の源泉となるのは、どうしても皆さまの小学校の理科教育が根本になるようです。



「明日の理科教育のために 第6集
(昭和36年12月発行)」より

こういう観点から、わたくしたちは少しでも、その科学的な雰囲気をつくるお役に立ちたいと思い、非常に小さいものではありませんが、これがきっかけとなって、日本人全体の科学的なレベルがだんだんとあがってくるということを期待したからです。

小学校に理科学的な考えを

最近とくに科学教育の充実ということが叫ばれておりますが、やはり重要なのは、小学校低学年はさておいても、小学校の高学年あたりに、どうやって理科学的な考え方をうえつけるかということではないかと思えます。わたくしは、2, 3年前からゴルフを始めましたが、今ごろ始めたものと、幼いときから始めたものでは、どうしても追いつきようがありません。それと同じように、頭の働かし方も若いときにうえつけるということが、いかに後になって伸び方が変わってくるか、ということをおいさらのように考えさせられています。

本日の授賞はなんのお役にも立たないものだと思いますが、ただ、このことが刺激となって、一つ一つの学校が理科教育振興の方向に目ざめて、将来の日本を背負って立つ科学レベル向上に力を添えられれば、ソニーとしてはこのうえもない幸いです。

*ガモフ先生： ジョージ・ガモフ アメリカの物理学者